

## 第Ⅳ部

# 「平成15年度西宮市市民意識調査より」

調査票（抜粋） .....	95
調査結果（抜粋） .....	97





# 西宮のまちづくりと環境について

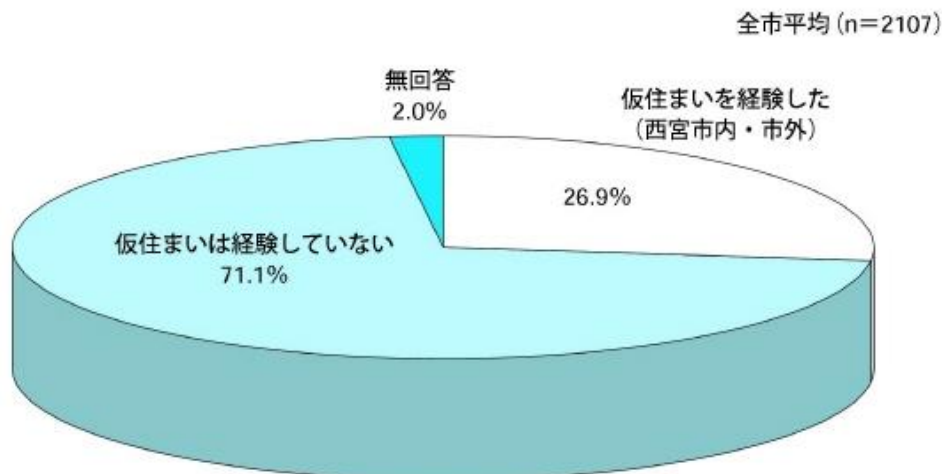
## 1. 震災時の仮住まい経験

問9 あなたは、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災によって仮住まい（避難所などへの一時的避難も含む）を経験されましたか。あてはまるものをお選びください。

★西宮市内と市外を合わせ、26.9%が「仮住まいを経験した」ことがある。

阪神・淡路大震災による仮住まい経験の有無は、15.9%が「西宮市外で経験した」ことがあり、12.1%が「西宮市内で経験した」ことがある。また1.1%の人が、西宮市内・市外の両地で経験したことがあるため、市内・市外合わせて、仮住まいを経験したことがあるのは26.9%である。震災から8年以上が経過した現在、「仮住まいは経験していない」人が全体の約7割を占めている。

図. 震災時の仮住まい経験（全市平均）



★被災の程度を反映し、仮住まい経験率はコミュニティ間に差がある。

被災の程度を反映してか、全体平均と比べて仮住まい経験率が高いのは、大社（市内・市外合わせて46.4%）、広田（同45.6%）、甲東1（同45.5%）、平木（同45.0%）、浜脇（同41.7%）、夙川（同40.0%）、甲東2（同37.2%）である。これらのコミュニティで、特に平木、広田、大社、夙川は「市外での仮住まい経験」がとりわけ高くなっている。

表. 震災時の仮住まい経験（コミュニティ別）

全市平均より回答率が、20%以上高い◎、20%未満～10%以上高い○、10%以上低い▽

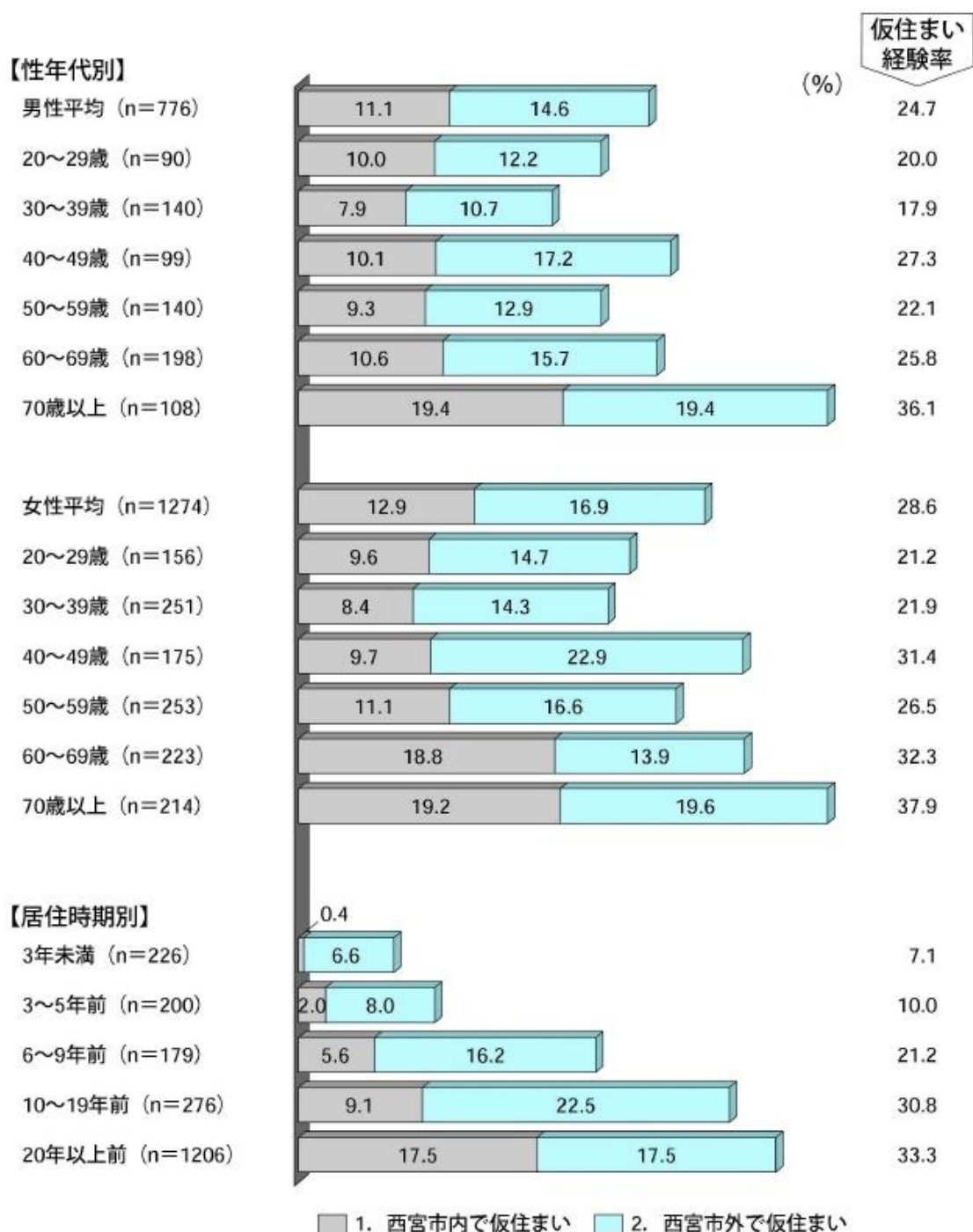
	回答者数	仮住まいを経験した			仮住まいは経験していない	無回答
			西宮市内	西宮市外		
全市平均	2,107	26.9%	12.1%	15.9%	71.1%	2.0%
香櫨園	54	24.1	7.4	16.7	74.1	1.9
浜脇	120	○ 41.7	25.0	16.7	▽ 55.8	2.5
用海	43	▽ 16.3	7.0	9.3	○ 81.4	2.3
津門	73	21.9	12.3	9.6	75.3	2.7
春風	66	24.2	13.6	12.1	74.2	1.5
今津	62	19.4	6.5	12.9	79.0	1.6
夙川	40	○ 40.0	10.0	32.5	▽ 57.5	2.5
越木	85	30.6	10.6	20.0	69.4	—
苦楽	26	26.9	—	26.9	69.2	3.8
安井	57	29.8	15.8	15.8	66.7	3.5
大社	56	○ 46.4	14.3	33.9	▽ 53.6	—
神原	42	35.7	14.3	28.6	64.3	—
甲陽	65	27.7	12.3	15.4	67.7	4.6
芦原	13	30.8	23.1	7.7	69.2	—
平木	20	○ 45.0	5.0	40.0	▽ 55.0	—
広田	68	○ 45.6	14.7	35.3	▽ 51.5	2.9
上ヶ原	87	33.3	14.9	21.8	62.1	4.6
甲東1	66	○ 45.5	22.7	25.8	▽ 53.0	1.5
甲東2	121	○ 37.2	19.0	19.8	▽ 60.3	2.5
北口	99	35.4	18.2	19.2	62.6	2.0
瓦木	107	24.3	14.0	12.1	73.8	1.9
甲子園	48	33.3	6.3	27.1	66.7	—
鳴尾1	137	▽ 12.4	7.3	5.1	○ 87.6	—
鳴尾2	169	▽ 13.0	5.9	7.1	○ 83.4	3.6
鳴尾3	90	▽ 16.7	4.4	12.2	○ 83.3	—
名塩	76	▽ 7.9	2.6	5.3	◎ 92.1	—
生瀬	44	18.2	2.3	15.9	79.5	2.3
山口	71	▽ 5.6	4.2	2.8	◎ 94.4	—

★高年代ほど、また西宮市内での居住年数が長いほど仮住まい経験率が高い。

男女間で大きな開きはないが、年代別では70歳以上の層が、それ以下の年代と比べて仮住まい経験率が高い。70歳以上の西宮市内・市外合わせた仮住まい経験率は、男性36.1%、女性37.9%である。

また、西宮市内での居住時期別では、居住年数が長い層ほど仮住まい経験率が高い傾向が見られ、20年以上前の層は33.3%(市内、市外とも17.5%)、10～19年前の層では30.8%(市内：9.1%、市外：22.5%)である。

図. 西宮市内・市外での仮住まい経験（性年代別／西宮市内の居住時期別）



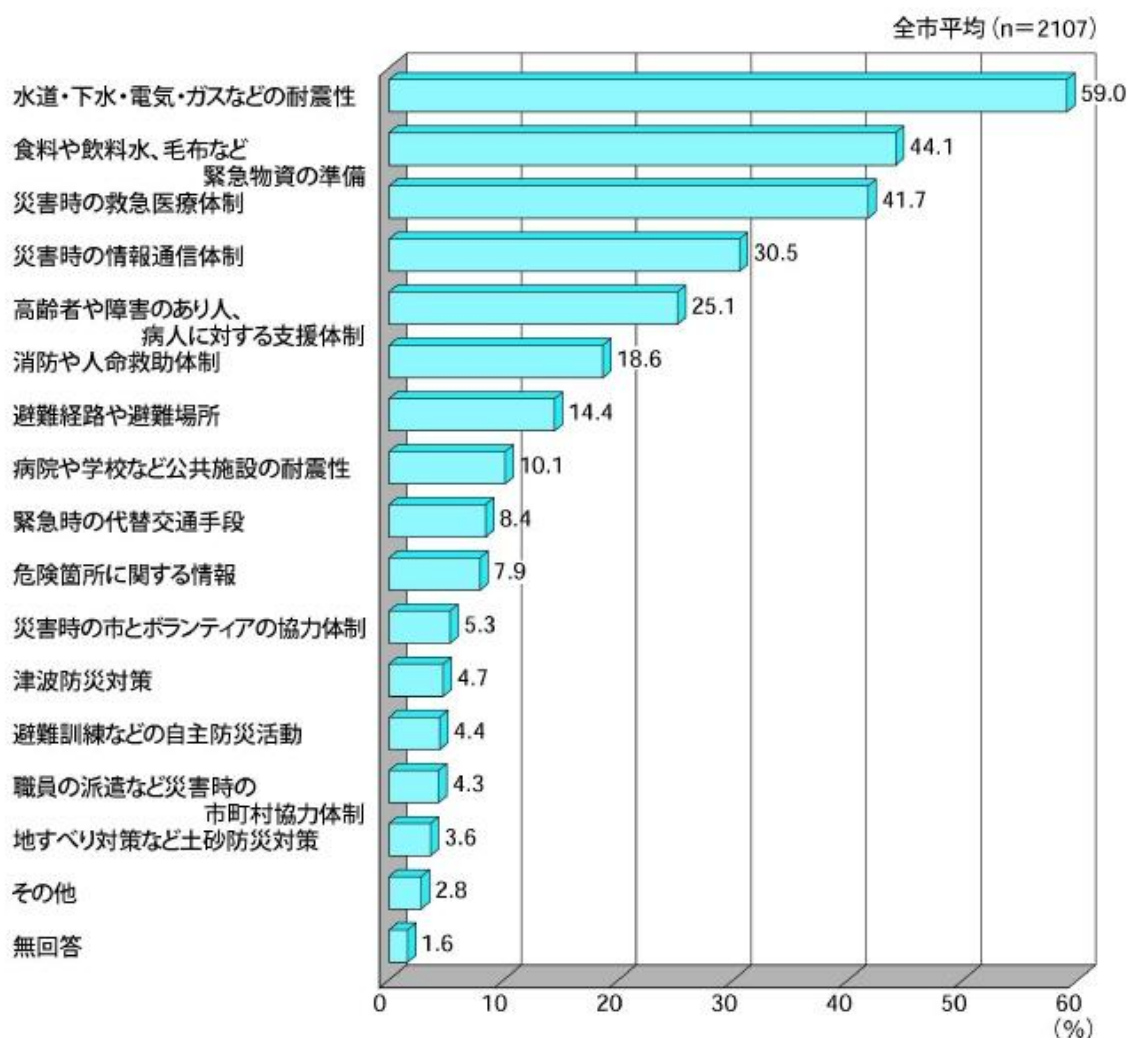
## 2. 災害発生に対して不安に思うこと

問10 震災から約8年経ちますが、今後も大きな地震が起こる可能性が高いといわれています。大規模な災害の発生に対して、あなたが不安に思われることはどのようなことですか。次の中から、特にあてはまるものを3つまでお選び下さい。(〇は3つまで)

★「水道・下水・電気・ガスなどの耐震性」を筆頭に、ライフライン関係が圧倒的。

災害発生に対して不安に思うことは(3つまでの複数回答)、「水道・下水・電気・ガスなどの耐震性」が59.0%と突出して多い。ついで、やはりライフラインに関係する「食料や飲料水、毛布など緊急物資の準備」が44.1%、以下「災害時の救急医療体制」41.7%、「災害時の情報通信体制」30.5%と続く。他には、「高齢者や障害のある人、病人に対する支援体制」(25.1%)、「消防や人命救助体制」(18.6%)、「避難経路や避難場所」(14.4%)といった項目が10~20%台で並び、以上の7項目にほぼ集約される形となっている。

図. 災害発生に対して不安に思うこと (全市平均)

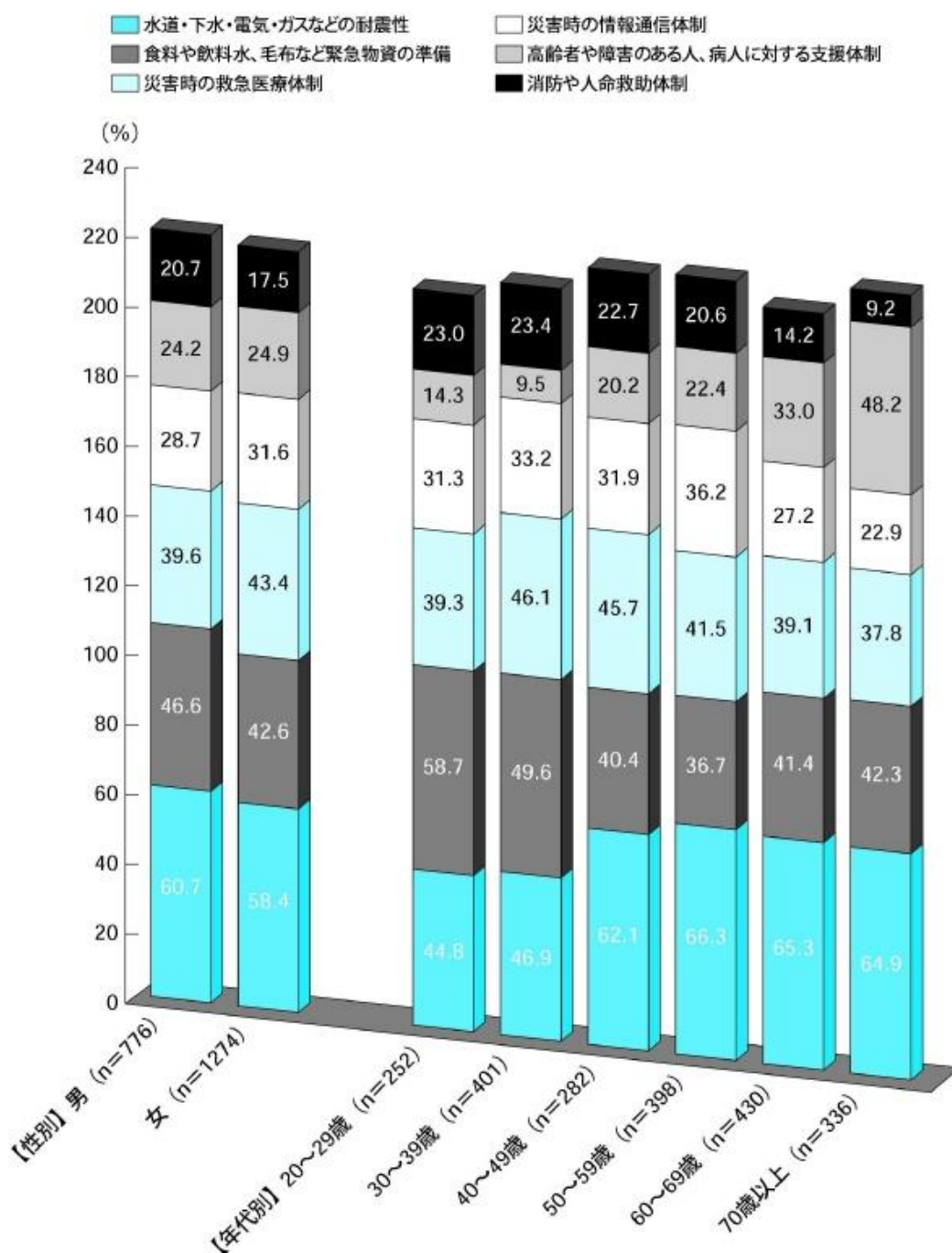


★70歳以上の層は、「高齢者や障害のある人、病人に対する支援体制」をとりわけ不安に感じている。

60代以下の年代層では、「水道などの耐震性」、「緊急物資の準備」、「救急医療体制」が不安に思うことの上位3項目に挙げられているが、70歳以上の層に限っては「高齢者や…に対する支援体制」が48.2%で、不安に思うことの第2位に挙がっている。それ以下の年代に比べ、より切実に意識されているといえる。

また、仮住まい経験がない人に比べ、仮住まい経験者も、「高齢者…に対する支援体制」への不安が多い傾向が見られるが、これは上述の70歳以上をはじめとする高年代層に仮住まい経験者が多いことが影響している。

図. 災害発生に対して不安に思うこと（上位6項目に関する性別／年代別）





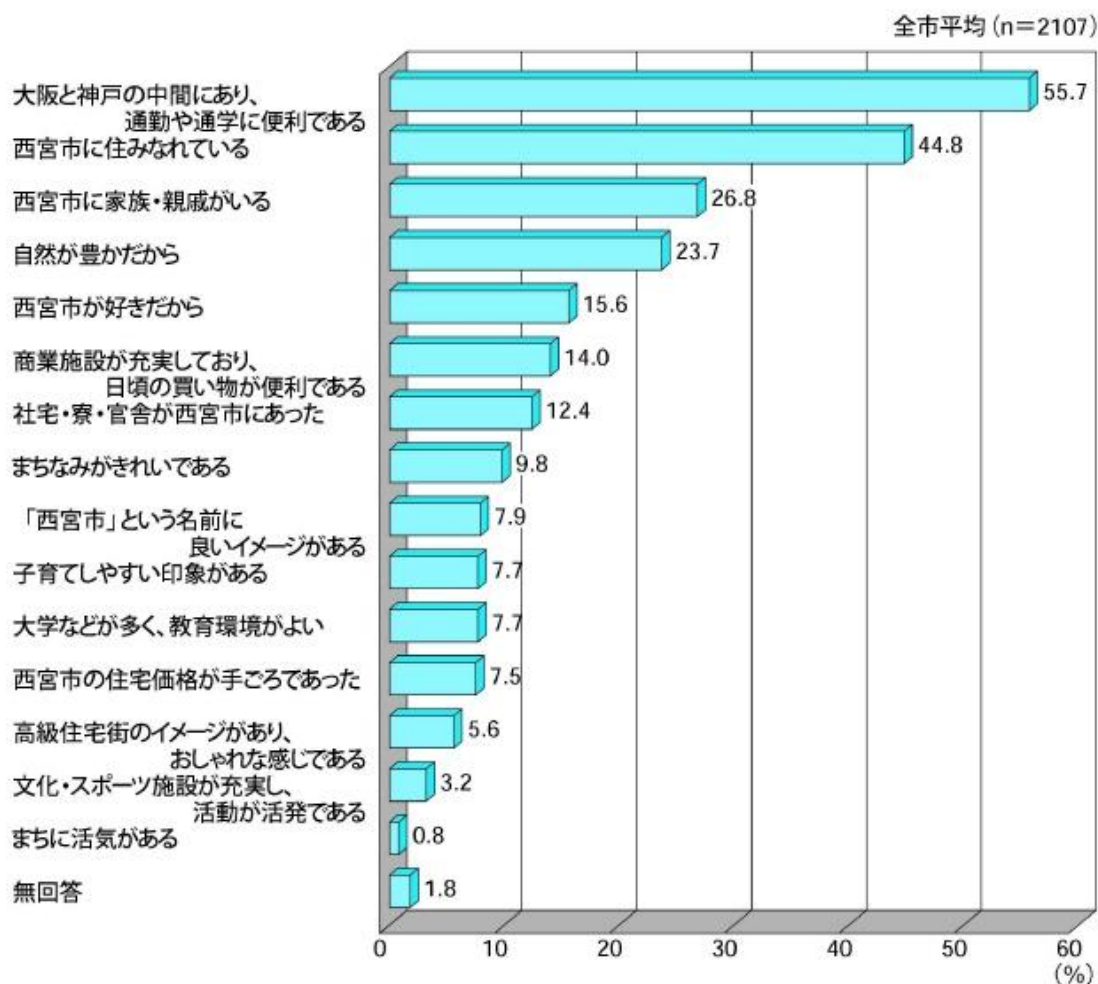
### 3. 西宮市への居住・転入理由

問11 あなたが西宮市にこれまで住んでおられる理由、または、転入される際に重視されたことはどのようなことですか。次の中から特にあてはまるものを3つまでお選びください。(○は3つまで)

★「大阪と神戸の中間にあり、通勤や通学に便利である」という位置的利便性、そして豊かな自然が西宮市の魅力。

西宮市に住んでいる、また転入してきた理由（3つまでの複数回答）のトップは、「…通勤や通学に便利である」が55.7%と過半数で最も多い。以下、「西宮市に住みなれている」（44.8%）、「西宮市に家族・親戚がいる」（26.8%）といった具体的な魅力ではないが、愛着や身近さを表す理由が2、3番目に挙げられる。ついで「自然が豊かである」（23.7%）と続き、他には「西宮市が好きだから」（15.6%）、「商業施設が充実しており、日頃の買い物が便利である」（14.0%）、「社宅・寮・官舎が西宮市にあった」（12.4%）といった理由も比較的多い。

図. 西宮市への居住・転入理由（全市平均）



★コミュニティ別では、場所や環境を反映して、魅力ポイントは分かれる。

コミュニティ別に見た場合、市全体では最も多い「…通勤や通学に便利である」をはじめ、「自然が豊かである」や「…日頃の買い物に便利である」などは、当然ながら地域の場所や環境によって差が見られる。

「…通勤や通学に便利である」が特に多いコミュニティは、平木（80.0%）、夙川（77.5%）、安井（70.2%）、瓦木（69.2%）、香櫨園（68.5%）といった駅周辺コミュニティである。また、「自然が豊かである」が特に多いコミュニティは、名塩（69.7%）、生瀬（68.2%）、苦楽園（65.4%）、山口（49.3%）、香櫨園（46.3%）などである。

表. 西宮市への居住・転入理由（上位4項目に関するコミュニティ別）

全市平均より回答率が、20%以上高い=◎、20%未満～10%以上高い=○  
20%以上低い=▼、20%未満～10%以上低い=▽

	回答者数	「大阪と神戸の中間 にあり、通勤や通 学に便利である」	「西宮市に住み なれている」	「西宮市に家族・ 親戚がいる」	「自然が豊かで ある」
全市平均	2,107	55.7%	44.8%	26.8%	23.7%
香櫨園	54	○ 68.5	▽ 31.5	20.4	◎ 46.3
浜脇	120	54.2	45.8	20.0	21.7
用海	43	53.5	○ 58.1	32.6	▽ 11.6
津門	73	54.8	○ 57.5	○ 41.1	▽ 8.2
春風	66	62.1	○ 56.1	28.8	▽ 6.1
今津	62	54.8	○ 56.5	32.3	▽ 9.7
夙川	40	◎ 77.5	37.5	▽ 15.0	25.0
越木岩	85	51.8	40.0	27.1	○ 40.0
苦楽園	26	▽ 42.3	38.5	19.2	◎ 65.4
安井	57	○ 70.2	47.4	26.3	17.5
大社	56	60.7	50.0	17.9	32.1
神原	42	50.0	40.5	35.7	○ 35.7
甲陽	65	60.0	43.1	21.5	◎ 44.6
芦原	13	46.2	◎ 69.2	◎ 53.8	▼ —
平木	20	◎ 80.0	▽ 25.0	20.0	▽ 5.0
広田	68	○ 66.2	47.1	27.9	20.6
上ヶ原	87	▽ 41.4	42.5	28.7	33.3
甲東1	66	○ 66.7	37.9	30.3	19.7
甲東2	121	54.5	39.7	21.5	29.8
北口	99	62.6	43.4	25.3	▽ 13.1
瓦木	107	○ 69.2	43.0	27.1	▽ 11.2
甲子園口	48	62.5	52.1	25.0	14.6
鳴尾1	137	62.0	46.7	27.0	▽ 8.0
鳴尾2	169	65.0	46.2	29.0	▽ 10.7
鳴尾3	90	61.1	44.4	34.4	▽ 10.0
名塩	76	▽ 44.7	▼ 21.1	18.4	◎ 69.7
生瀬	44	▽ 40.9	▽ 29.5	▽ 15.9	◎ 68.2
山口	71	▼ 15.5	46.5	23.9	◎ 49.3

★西宮の居住年数が長くなると居住理由として、「住みなれている」とともに、「西宮市が好きだから」も多くなる。

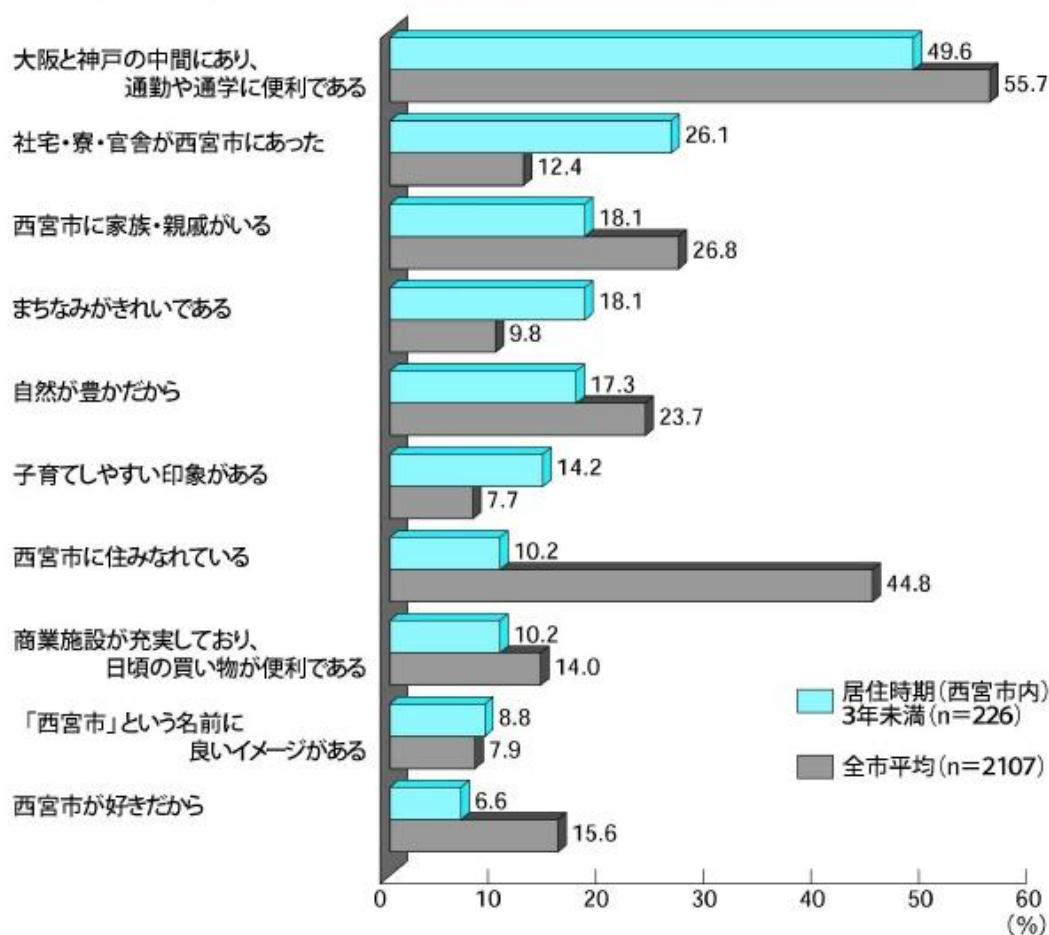
居住時期別（西宮市内）では、「西宮市に住みなれている」という理由は、当然ながら居住年数が長い層ほど多くなる傾向がある。また、「西宮市が好きだから」という理由も、同様に居住年数が長い層ほど多くなる。

★西宮市への転入理由は、「通勤・通学に便利」という位置的利便性が最大のポイント。

西宮市内での居住時期が3年未満といった転入して間もない層を見てみると、「…通勤や通学に便利である」が49.6%で、他項目に対し圧倒的であり、西宮市への転入の大きな理由・魅力ポイントとなっている。

また、「まちなみがきれいである」18.1%（全市平均9.8%）や、「子育てしやすい印象がある」14.2%（全市平均7.7%）は、全市平均と比較して多く、転入時の重視ポイントとして市外から見た西宮のイメージともいえる。

図. 居住時期3年未満層の西宮市への居住・転入理由（上位10項目）



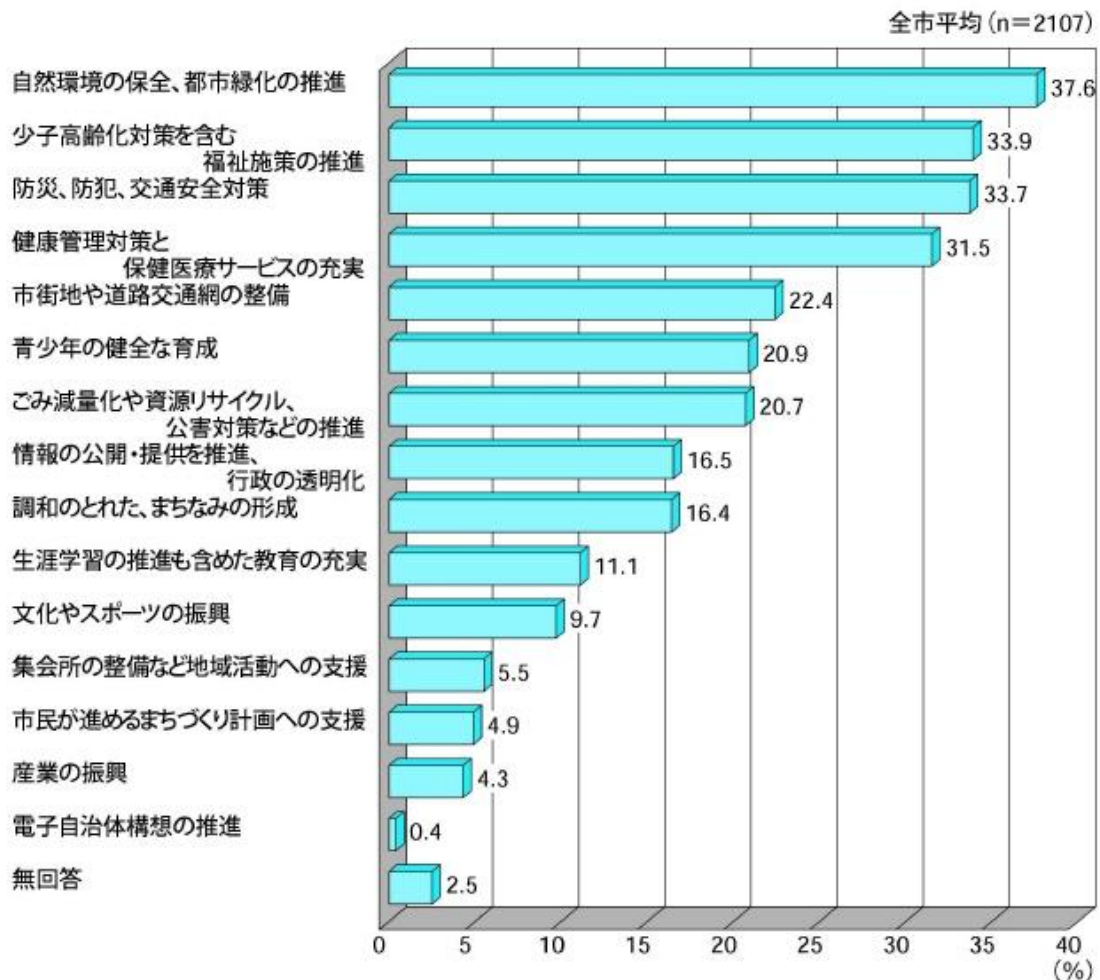
#### 4. 西宮市に望む今後の施策

問12 あなたが、今後西宮市に特に力を入れてほしいと思われるものはどのようなことですか。  
次の中から特にあてはまるものを3つまでお選びください。(○は3つまで)

★「自然環境の保全」「福祉」「防災・防犯・交通安全」「医療サービス」が3割台で上位に並ぶ。

西宮市に望む今後の施策としては（3つまでの複数回答）、「自然環境の保全、都市緑化の推進」が37.6%と最も多く、以下「少子高齢化対策を含む福祉施策の推進」（33.9%）、「防災、防犯、交通安全対策」（33.7%）、「健康管理対策と保健医療サービスの充実」（31.5%）が、ほぼ同程度で並んでいる。全体的に際立って要望の多いものは見られず、逆に回答が少なかったものとしては、「電子自治体構想の推進」が0.4%で、まだまだ関心や浸透の低さがうかがえる。

図. 西宮市に望む今後の施策（全市平均）



★コミュニティ別では、地域によって西宮市に対する今後の要望が異なる。

コミュニティ別では、地域の環境などによって回答率にばらつきがある。特に、平木（55.0%）や香櫨園（53.7%）において「防災、防犯、交通安全対策」（全市平均33.7%）が多く、山口で「市街地や道路交通網の整備」が42.3%（全市平均22.4%）で多いのが目立つ。

表. 西宮市に望む今後の施策（上位5項目に関するコミュニティ別）

全市平均より回答率が、20%以上高い=◎、20%未満～10%以上高い=○  
20%以上低い=▼、20%未満～10%以上低い=▽

	回答者数	「自然環境の 保全、都市緑 化の推進」	「少子高齢化対 策を含む福祉 施策の推進」	「防災、防犯、 交通安全対 策」	「健康管理対策 と保健医療サ ービスの充実」	「市街地や道 路交通網の整 備」
全市平均	2,107	37.6%	33.9%	33.7%	31.5%	22.4%
香櫨園	54	○ 48.1	29.6	◎ 53.7	22.2	24.1
浜脇	120	40.0	40.8	28.3	37.5	24.2
用海	43	37.2	41.9	▽ 23.3	25.6	16.3
津門	73	▽ 24.7	○ 45.2	28.8	37.0	20.5
春風	66	40.9	33.3	27.3	31.8	19.7
今津	62	37.1	▽ 22.6	43.5	38.7	14.5
夙川	40	45.0	27.5	42.5	22.5	30.0
越木岩	85	○ 49.4	30.6	31.8	32.9	17.6
苦楽園	26	○ 53.8	42.3	38.5	30.8	23.1
安井	57	29.8	36.8	35.1	36.8	24.6
大神	56	44.6	○ 44.6	37.5	23.2	19.6
原陽	42	40.5	38.1	40.5	26.2	14.3
甲陽	65	○ 52.3	27.7	38.5	24.6	20.0
芦原	13	▼ 15.4	○ 53.8	38.5	38.5	○ 38.5
平木	20	30.0	○ 50.0	◎ 55.0	▽ 20.0	▽ 5.0
広田	68	36.8	30.9	33.8	35.3	25.0
上ヶ原	87	42.5	25.3	40.2	27.6	20.7
甲東1	66	33.3	36.4	28.8	40.9	24.2
甲東2	121	44.6	30.6	38.8	24.0	24.0
北口	99	39.4	31.3	34.3	30.3	23.2
平木	107	32.7	27.1	38.3	31.8	16.8
甲子園口	48	43.8	33.3	29.2	○ 43.8	20.8
鳴尾1	137	37.2	29.9	34.3	29.2	21.2
鳴尾2	169	33.7	34.9	30.8	29.6	18.3
鳴尾3	90	38.9	○ 45.6	31.1	35.6	17.8
名塩	76	▽ 26.3	35.5	26.3	40.8	○ 36.8
生瀬	44	38.6	36.4	25.0	31.8	27.3
山口	71	▽ 19.7	31.0	31.0	29.6	○ 42.3

阪神・淡路大震災  
震災復興10年・西宮からの発信  
安全・安心の実現に向けて

平成17年（2005年）3月発行

編集：西宮市総合企画局企画総括室政策推進グループ

〒662-8567 西宮市六湛寺町10-3

TEL 0798 (35) 3476